

みんなで開院して10周年 生協クリニックのべおか



生協クリニックのべおか

生協クリニックのべおかの紹介

2009年1月、たくさんの組合員さんの思いや願いが詰まった診療所が、延岡市浜砂町に開院しました。当初5名だったスタッフも今では8名となり、みんな精一杯業務に取り組んでいます。そして今年が開院10年目の節目となりました。あつという間の10年です。少しずつですが知名度も上がり、地域のかかりつけ医・家庭医として成長しています。

同施設内の「デイサービスそれいゆ」は、地域密着型の通所介護としてアットホームなサービスを目指しています。また、手作りのおやつがとても好評です。随時見学も受け入れています。

クリニックの医療活動

主な医療活動は「内科外来診療」「訪問診療」「健康診断」です。延岡という地域・医療のニーズを知ることから始めるため、相談しやすい外来を目指しました。現在、地域の在宅医療の実態を知ることができ、生活に合った医療の提供を目指しています。健康診断は自治体健診を含め企業の健診まで年間を通して実施しています。

組合員さんとの協同の取り組み

宮崎医療生協の県北・南方・日向支部の方々には助けられ、支えてもらっています。訪問行動や子供の保健学校、ボランティア活動、バスハイクやグラウンドゴルフ大会、新年会などの活動を年間通して行っています。2年に1回開催される「生協クリニックのべおか健康まつり」は、来場者が400名を超える大きなまつりです。私たち職員の出し物も好評です。

生協クリニックのべおから 組合員さんに向けて

県北の組合員の皆さんは明るく元気で、私がぼーとしてっていると置いていかれます。運営委員さんの顔、職員の顔がわかるクリニックは、とても素敵なことだと思います。“生協クリニックのべおか”の継続と発展していくことが私たちの職員の役割だと思えます。ここには昔ながらの医療生協があるような気がします。組合員の皆さん“生協クリニックのべおか”に気軽にお越しください。お待ちしております。

生協クリニックのべおか事務長 興梶貴美代



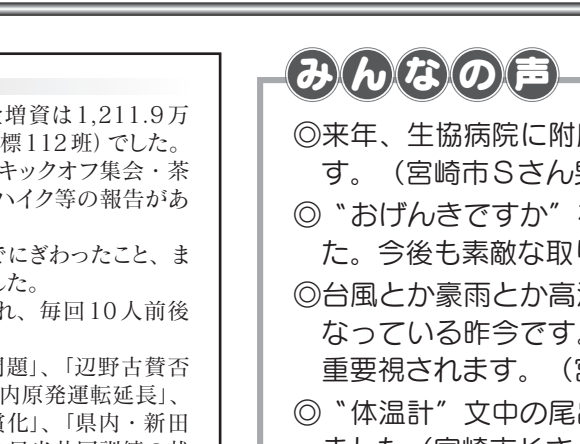
組合員と職員との交流会



秋の健康祭り



隔年開催の健康まつり



クリニック職員のみなさん

＜審議・決定事項＞

- ①10月度の組合員増やしは489名(目標395名)、出資金増資は1,211.9万円(目標689万円)、班づくりは4班、班会開催106班(目標112班)でした。
- ・秋の医療生協強化月間の取り組み準備状況、パティ企画(キックオフ集会・茶話会等)、支部地域訪問、生協病院周辺地域訪問、バスハイク等の報告がありました。
- ・宮崎生協病院健康まつりでは、およそ1,000人の来場者でにぎわったこと、まとめの会を11月28日に開催することなどの報告がありました。
- ・「夢つなぐ東大宮の活動」では、4カ所でサロンが開催され、毎回10人前後が参加しています。
- ②平和と社会保障を守る取り組みについて、「沖縄の基地問題」、「辺野古賛否県民投票」、「辺野古工事再開」、「伊方原発再稼働」、「川内原発運転延長」、「女川原発廃炉決定」、「社会保障費削減」、「幼稚園無償化」、「県内・新田原米軍受け入れ・日米訓練・基地交付金」「新田原基地の日米共同訓練の状況」などの報告がありました。また、「過労死等病死対策推進シンポジウム」の案内もありました。
- ③9月の法人の経常利益は▲229.1万円(予算差▲911.8万円)、累計では4,343.7万円(予算3,404万円)の到達です。
- ④「常勤理事会規程・管理部会規程・権限規程・介護事業所所長の任務と権限に関する規程」の各議決事項の一部改訂についての提案があり、再度検討を行うこととなりました。
- ⑤「和知川原生協クリニック」の現金監査報告がありました。

＜報告・承認事項＞

- ①10月度事業所活動について報告・承認しました。
- ②10月度医療安全管理委員会について報告・承認しました。
- ③10月度宮崎生協病院利用委員会について報告・承認しました。
- ④10月度県連学習教育委員会について報告・承認しました。
- ⑤10月度県連介護事業所責任者会議について報告・承認しました。
- ⑥10月度経営協議会について報告・承認しました。
- ⑦第29期第8.9回常勤理事会について報告・承認しました。
- ⑧宮崎民医連第10期第6回理事会について報告・承認しました。
- ⑨県社保協第5回幹事会について報告・承認しました。
- ⑩れいんぼう会館改修工事の進め方について報告・承認しました。
- ⑪病院リニューアルに向けたスケジュールについて報告・承認しました。
- ⑫人事について報告・承認しました。

2018年11月 理事会の報告 (11月10日開催)

みんなの声

◎来年、生協病院に附属棟が開設すること。大変楽しみにしています。(宮崎市Sさん男性)

◎“おげんきですか”を読んで、組合員さんとの関わりを強く感じました。今後も素敵な取り組みをお願いします。(都城市Oさん女性)

◎台風とか豪雨とか高温等の異常気象による不安や心配が段々と大きくなっている昨今です。災害等を最小に留める予防や対策がこれからは重要視されます。(宮崎市Kさん男性)

◎“体温計”文中の尾畠さんのボランティア活動、本当に感心、感動しました(宮崎市Kさん男性)

◎民意をかえりみず反省しようとしないう安倍一強政治が沖縄知事選の結果に対してどう反応するのか…。早く退陣に追い込み憲法9条は必ず守りたいですね。(宮崎市Mさん女性)

虹の声

宮崎生協病院虹の意見箱

11月度宮崎生協病院利用委員会

11月、虹の声への意見は寄せられませんでした。

今、宮崎医療生協は	2018年10月末現在
■新規加入者 489名(10/1～10/31)	■総組合員数 49,867名
■出資金 5億6,937万円	■平均出資金 11,418円
■班数 300班	■おげんきですか手配り配布数 20,728部

健康ウォークやツラマン・エトビンで体がひるひるを

2つのウォーキングで気分もリフレッシュ

10月20日(土)、宮崎市民の森公園で「医療生協健康ウォーキング」を開催しました。47名が参加、宮崎生協病院理学療法士の倉元充氏によるストレッチ体操のあと、4キロ・2キロコースを自分のペースに合わせて、森林浴を味わいながらウォーキングを楽しみました。「楽しかった」などの感想をいただきました。

また、11月17日(土)、コッパみやぎとの共催で「生協いきいき健康ウォーク」を綾町で開催しました。2つの生協から105名の組合員さんが参加、2キロ・5キロ・7キロのコースを楽しみました。(組織部)



市民の森で森林浴を味わう



馬事公苑を元気に歩く出発

3つの支部(南方、県北、北2)でグラウンドゴルフ大会

南方支部の三人行事の一つとして、10月14日(日)五ヶ瀬川分流通公園を会場に51名の組合員が参加しました。グラウンドゴルフは、組合員の健康と親睦を目的として毎年行っています。試合中はホールインワンやトンネルなどの好プレイや珍プレイが続出、「久しぶりで楽しかったわ」「なかなかうまくいかんかったね」などの感想をいただきました。競技後、田原逸子支部長から感謝の言葉と、また秋の医療生協強化月間の成功にに向けて、仲間ふやしと出資金増資の訴えがありました。優勝はAパートでは、なでしこ班の江藤澄子さん、Bパートではうぐいす班の村上友久さん。8チームで競い合った楽しい大会でした。(南方支部長 田原逸子)

また、10月30日(火)は県北支部でもグラウンドゴルフ大会が開催されました。

10月27日(土)は秋空の下、柳瀬河川敷グラウンドで北2支部秋のグラウンドゴルフ大会が開催されました。大会委員長は福島純一北2支部副支部長の「ピー」との笛の合図を待って、各班いっせいにプレイ開始。みなさん1打目は緊張のスタートでしたが徐々に肩の力もぬけ、笑顔も出てきました。ベテランのみなさんに優しく助言された直後の一打が偶然に(？)ニアピンになり、跳び上がった喜んでる初心者もありました。この日はホールインワンが次々と出て、その度に各コースからは拍手と歓声が上がりました。この日の優勝は池田光さん、準優勝は後藤種親さん、3位は藤田律子さん、ブリー賞は末吉玲子さんでした。お昼は、40数名の参加者がブルーシートに車座になり、美味しい弁当を頂きながら、初対面の参加者とも和やかに懇談が弾みました。ランチの後は、運営委員の田原良子さんから「医療生協の秋の月間」の取り組みと加入のお誘い、生協病院付属棟建設に向けた増資の呼びかけがありました。

(北2支部運営委員 黒木利恵)



北2支部グラウンドゴルフ大会



県北支部グラウンドゴルフ大会

第2回「大塚・江南支部 & 小松支部合同交流会」を開催

11月6日(火)、宮崎市小松台ハイランド集会所にて「大塚江南支部 & 小松支部合同交流会」を開催しました。2003年に西部支部より小松支部が、2007年に大塚・江南支部が分割し結成。交流会では、①自己紹介・支部活動と運営、②全国四課題の取り組みについて、活発な意見交換がなされました。出資金増資の案内では、「組合員加入時の一口増資が多く、行事や公民館での健康チェック、班会開催とともに生協病院附属棟建設の説明を行い、一人ひとりに呼びかけ大口の協力を得ることができた」と、大塚・江南支部から成果が聞けました。また人工腎透析施設の開設については、「サロン101に参加された組合員のご主人が人工透析が必要になり他の病院を紹介されました。今回できる生協病院附属棟で人工透析が受けれると大変喜んでます」、「夜通院して、朝帰れるお泊り人工透析ができるという良いですね」などの声もいただきました。

仲間づくりでは、バスハイクで交流を深め楽しい行事ですまずお友だちになつて加入をお勧めしたい、フランダースの方には案内をして仲間ふやしができたそうです。小松支部の公民館健康チェックは、自治会回覧で参加数と仲間づくりが増え、料理実習やおげんきですか手配り配布協力員の交流会では、多くの出資金増資の協力をいただきました。また小松支部より支部合同の保健学校行事の提案があり是非実現できればと思います。「おげんきですか」については、「紙面の変化と多くの組合員や職員の意見と写真が掲載されることを期待します」との声が寄せられました。大塚・江南支部では11月23日、100名参加を目標に組合員交流のつどいの開催を計画しています。

今回の支部合同交流会は、「組合員さんと地域の方にも医療生協を広く知らせて多くの仲間を迎えたい」、「現状に甘えずに革新し、前進あるのみ」と、精力的な活動パワーに感心と刺激を受けました。小松支部にとって多くのことを学ぶ良い機会となり、実りある支部合同交流会でした。(小松支部運営委員 立川沢子)



小松支部・大塚江南支部組合員のみなさん

おげんきですか文芸欄

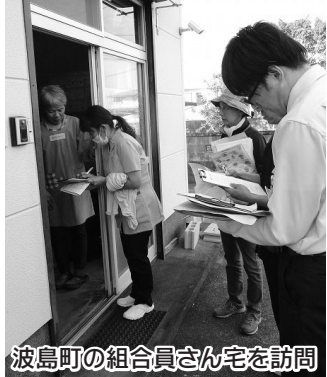
〈川柳〉
アメリカの核兵器にも制裁を
反省と口では言うが辞めぬ人
官つぶしあとで出てくる自己責任

伊津毛愚作(国富町)

おげんき仲間へ配布協力員紹介

東部支部の清水喜代さん。配達をお願いして約2年、約50部を熱心に配っていたいてあります。趣味は多種・多芸で、週2回支部のグラウンドゴルフを仲間たちと楽しんでおられます。これからも宜しくお願いします。(運営委員会)

《お問い合わせ》組織部 0985・31・9055



波島町の組合員さん宅を訪問

宮崎生協病院周辺にお住まいの組合員さんから貴重な意見や声をいただきました。

地域の高齢化がすすみ、一人ぼっちの高齢者や困難をかえた人が増えている今日、助け合う地域づくりが医療や福祉分野に求められています。宮崎医療生協では、来年12月完成予定の宮崎生協病院附属棟建設を前に10月31日水、組合員さんのご協力をいただき、宮崎市波島町や大島町など宮崎生協病院周辺を23名の組合員さんと22名の職員がペアとなって初めて訪問実施しました。

訪問では、①地域の実態を把握するために高齢者アンケート(医療費・生活の実態)を、②自治体健診をすすめるための「健康診断案内」を、③宮崎生協病院への要望などを伺いました。125軒のお宅を訪問し、66人の方から生協病院は休日でも診察してくれるので助かります、「リウマチ科がないので他院に通院している」「かかりつけ医だが往診も望んでいます」「身内が透析治療で他院に通院しているが交通費がかかるので困っている」などの貴重な意見や声をいただきました。波島町や大島町の他にも和知川原や祇園地区などでも行いました。(組織部)